

IT/Web議題リスト 11/18

項番	項目	カテゴリー	目的	内容	予定
1	Web 状況Update	Web	情報共有	会員数推移、追加／更新ページUpdate、	3
2	記事依頼／ページ更新方法、各室からの発信方法	Web	情報共有	Web記事／ページの依頼方法、その他決め事	3
3	会報郵送希望の設定	Web	情報共有	プロフィールに今年度の設定を追加、会費減額でOKか？	3
4	情報発信の限定範囲	Web	情報共有	「ようこそ」廃止、Forum／Askは限定とする方向で	3
5	メッセージング機能の強化	Web	情報共有	個々のつながりのために必要な機能を強化しました。	3
6	広告枠について相談	Web	相談	広告枠の相談（見せ方・料金など）／試行、今後の進め方	3
7	ロゴの多様性について	Web	相談	担当年度委員会の裁量で決めて良い範囲では。	3
8	Web利用規約	Web	確認	規約内容についての合意、12月1日施行可能？	5
9	スマートフォン用アプリの提供	Web	相談	動作確認済み、必要費用、導入についてのご意見伺い	5
10	Web推進の一環として、非Webユーザーの格差是正	Web	相談	Web利用がメインでない方へのケアとして紙の選択を残す	15
11	代替案：事務局による郵送代行	Web	相談	代替案として、事務局による郵送代行の検討	5

1. Web 状況Update

□ 会員数推移（内訳）

総会案内の封筒に旧番号記載というトラブルもありましたが、関係者の迅速なリカバリーをいただき非常に感謝しています。

登録状況 : 371名のご登録（11/18 13:00時点）

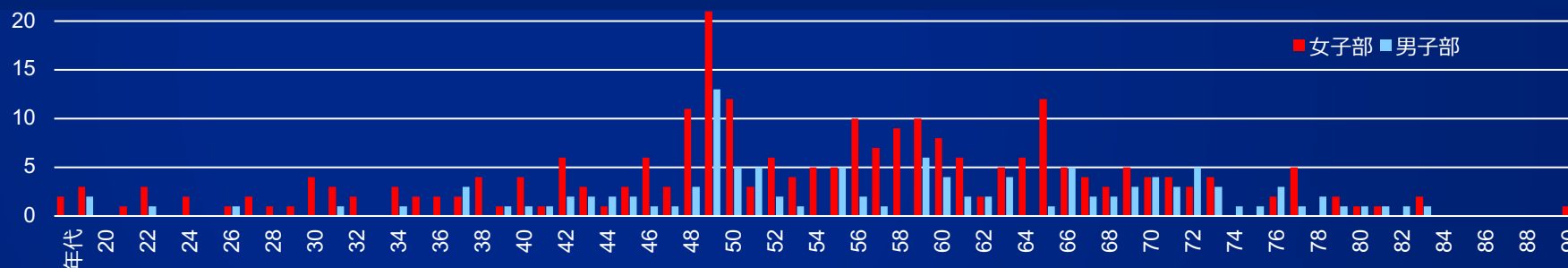
11名の仮登録のままのユーザー（携帯キャリアがメールを弾いていると思われる方）

→ 問い合わせも無いため諦めていると思われる。Webサイトで呼びかけしていく。

（1週間以上仮登録のままのIDは削除。再度違うメールアドレスでの登録を呼びかける。）

登録者内訳 : 女子部卒業生 254名 / 男子部卒業生 117名

年代別内訳 :



□ 追加／更新ページ

・書籍寄贈／寄贈一覧

・那須農場労働支援

・南沢大会

・クラス委員

□ 各自担当範囲のページご確認ください！

各室の関連ページについて、現在の記載内容で問題ないかご確認ください。

記載内容や、イメージを伝えていただければ、こちらでドラフトすることも可能です。

→ 総会、会報、予算室など

□ SNSコメント対応

SNSコメントで質問など合った場合への対応は、SNS発信担当者から該当担当者にSlack等で確認の上で回答で良いか？

2. 記事依頼／ページ更新方法、各室からの発信方法

□ ページ／記事の依頼：

委員会ページからご依頼下さい。

→ <https://www.jiyu-minamisawa.jp/msw/contents/>

相談などは、Slack等でご連絡ください。

□ 会員に対するカジュアルな発信：

南沢Baseを積極的にご活用ください。（一般／会員限定向け）

南沢会の名称で発信したい場合はご相談ください。ただし、担当者名は明記ください（**顔の見える委員会**にしましょう）

→ 例えば「企画連携室」をフォローしている人には、必ず届くという形も作れます。

□ 委員会内での発信：

南沢Baseの委員会グループ内発信を活用ください。Slackでも良いですが、3ヶ月したら内容が消えます。

今後に残していきたい情報は、Webを活用いただくことを推奨します。

□ マニュアル編纂：

引き継ぎのための情報は、今後はWeb上の委員会マニュアルをお願いします。（OneNoteも残しますが。。）

3. 会報郵送の設定

□ 「今年度の会報郵送」（変更不可）の項目をプロフィールに追加。現在の設定を確認できるようにします。

□ 「次年度の会報郵送」（変更可能）は、ユーザー登録時にも選択可能とします。（今までの人はプロフィールから変更）

□ 年度末（3/31）時点で、「翌年度の会報郵送」に設定した内容が「今年度の会報郵送」となります。（Excelに抽出）

□ 確認事項：会報を「Webのみ」にした場合、年会費減額は決定で良いか？（選択肢の説明にて表示する予定）

→ 総会でも決定事項として説明が必要と考えています。（Webでも詳細説明予定）

4. 情報発信の限定範囲

□ 「ようこそ」メッセージ廃止

登録した方の氏名が表示されていたが、大量流入により本来見てもらいたいメッセージが流れてしまうため。
デメリットとしては、新規入会された方が分からなくなります。

□ アンケートの投票結果

11/18 12時の結果：

結論 → 南沢Forumsと南沢Askは**会員限定**といたします。
なお、一度会員限定にしたものは、
再度Openにすることは難しいです。

1.	変更不要	3票	17.65%
2.	南沢Baseを会員限定	4票	23.53%
3.	入会お知らせ非表示	7票	41.18%
4.	南沢Forums会員限定	12票	70.59%
5.	南沢Ask会員限定	11票	64.71%
6.	南沢Pages会員限定	4票	23.53%
7.	会員以外はいいいねを匿名	12票	11.76%

□ 南沢Forumsの活用

南沢Baseはフロー系の情報、**南沢Forumsはストック系**の情報に適しています。
後日参照することを想定した情報は、南沢Forumsをご活用ください。Slackは90日で消えてしまいます。

例： → パスワード記事のパスワードを残すForum （Web利用者は郵送物を探さなくても良い）
→ 総会資料を添付していくのもForumで良いのでは？（会員以外閲覧できないので）
総会資料を貼り、そこで議論をして貰う形に誘導するなど

□ 南沢Askを残すか？

現時点での判断は時期尚早だが、あまり利用者が居ないようであれば削除も検討。
利用方法としては、「売ります／買います」や「人材／メンバー募集」などを想定

いくつか事例的に仕掛けたほうが良いかもしれません。（海沼の集まりの募集をかけるなど）

5. メッセージング機能の強化

□ 自由な「つながり」機能の一つ

ユーザー間のメッセージング機能を強化しました。（1対1のDMから進化）

- 複数ユーザー間のダイレクトメッセージ
- グループ一斉メッセージ
- インスタントアクセス用のウィジェット追加（コネクション／所属グループのディレクトリーなどを表示）
- ファイル／画像／GIFアニメの送信
- お気に入りメッセージ機能 などなど（年額\$144で、音声／ビデオ通話機能機も追加可能）

□ 期待効果

- 名簿代替：
名簿が無い状態での、会員間の連絡手段の提供（自分の連絡先の開示は不要）
- 気軽にコミュニケーションできる：
LINEやFacebook、電話番号を交換するよりは気軽に使えるのでは？（OB/OGへの連絡もこれでOK）
- 確実に伝える通知機能：
グループ全体や、Webユーザー全体へのPush型通知が可能（南沢Baseを見に来ないユーザーへの連絡として）
- 幅の広い使い方：
南沢Baseとは異なるクローズドなコミュニケーションで、使い方の幅が広がる。
後述のスマホアプリで使えば、LINE等のメッセージングアプリの代替としても機能できるかも。

□ その他メッセージング機能

意味のある実装を心がけているため、まだお伝えしていない機能もあります。必要であればご連絡ください。

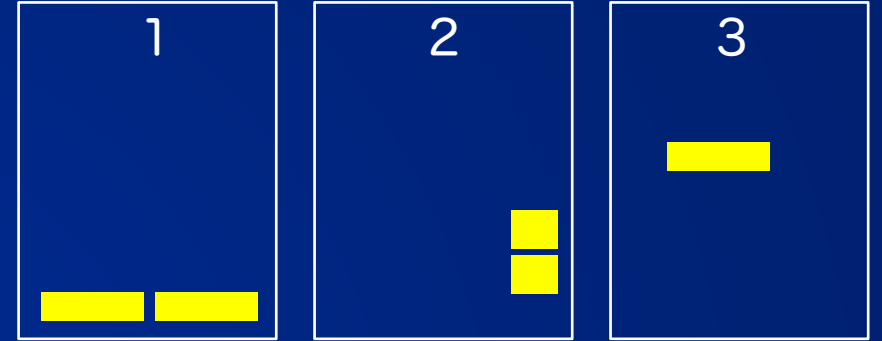
- 一括メール発信機能（デジタル会報のお知らせメールなどは、これを使う予定）
- チャット機能（裏の委員会ページとは別のチャット機能もあります）
- 管理者からの一括メッセージング（管理者機能としての実装。使う予定は無いですが）

6. 広告枠について相談【相談】

□ 広告枠イメージ

表示される場所、提供方法はどういう形が好ましいか？

1. Web画面下に、横長バナー x 2個
2. サイドバー下に、正方形バナー x 1~3個
3. コンテンツ内にランダムに挿入？
4. 月1回のダイジェストメールに入れる（1~2枠）



□ 南沢Pagesとの競合

お店の宣伝などは、Pagesで十分と考える可能性が高い。（Pagesを有料枠とする？）

□ その他のメリット提供

広告枠向けに他の施策（利点）が必要かもしれない。

- ・ 広告枠専用ページを別途提供
- ・ スポンサー特別記事の発行
- ・ 紙面広告枠の提供（チラシ枠の年間契約、後述する同封紙面の一部に広告を載せてスポンサーになっていただく）
- ・ スマホアプリと連携

□ 金額をどうするか？

1枠 3万円／年間くらいからスタート？

来年3月末までは試行期間として無料提供してはどうか？

□ 募集／管理方法

総務預かり？告知や募集はWebが良い？

応募資格や、掲載基準も整備が必要

→ 誰が推進担当？

7. ロゴの多様性について【相談】

□ ロゴのバリエーション

- ・ 奥貫の娘さんが、いろいろ試作してくれています。いつもありがとうございます！感謝！
- ・ 用途別に様々なサイズ／パターン／色などのバリエーションがあっても良いと考えています。（色反転パターン等）

用途別：Web／メールフッター／アプリアイコン／SNS用
画面別：PC／タブレット／スマートフォン他

□ 各年度担当の委員会の裁量で決めて良いのでは

- ・ 常識の範囲内（コロコロ変えない等）であれば、各年度の委員会の色を出していても問題無いと考えます。
- ・ 季節ごとのロゴ変更なども、Webを見に来る楽しみとなって良いのでは？ ワクワク感を提供したいと思います。
- ・ 決まったルールに従うだけでなく、各年度の担当委員会が「**主体的**」に活動できる環境や雰囲気が大切です。
- ・ 担当者に権限があるからこそ、自ら考え、責任をもった自律的な活動が可能になると考えます。

→ つまり、ロゴの変更は担当者の裁量の範囲で変更しても良いと考えます。

□ ロゴ以外の事象でも同様のことが言えます（7353へのメッセージです）

- ・ 既に過去に何らかの取り決めがあったことでも、会員の皆様の利益に反しない内容であれば、自ら考えて動いて下さい。
- ・ 伝統は大切ですが、その年の運営をするのは本部委員会です。過去に縛られることなく自由な発想で取り組んで下さい。
- ・ 異論など様々なご意見がありますが、真剣に考え、やるべきと信じた内容を進めることが南沢会の発展に繋がります。

→ 世の中の状況はどんどん変わります。変化が無いと衰退するだけです。変えられるのは担当年の委員会だけです！



8. Web利用規約【決議事項】

□ 11/3に実施された規約検討会議以降に修正した内容

→ [ドラフト版 \(Google Drive\)](#)

■主な修正点

<共通>

- ・名称変更（「会員」／「サービス」を使わない）
「ネットワークシステム」 → 「南沢会Webサイト」
「Web会員」／「Web会員ID」 → 「Webユーザー」／「WebユーザーID」

<個別>

- ・冒頭文章
「Webユーザー」を定義「利用登録を完了した自由学園南沢会の会員」
- ・第4条（禁止事項） 11. → 下記黄色を追記
「A.（自由学園南沢会規約 第1章-第2条に規定された）本会の目的にそぐわない営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為（本会の認めたものを除きます）」
- ・第8条（旧第9条）（利用の制限および登録の抹消） 1項、C → 下記黄色を追記（11/3の後の修正）
「C. 会費の滞納がある場合（詳細は自由学園南沢会規約 第2章-第5条に準ずる）」
2項（旧3項）を復活
「2. 本会は、本条に基づき行った行為によりWeb登録者に生じた損害について、一切の責任を負わないものとする。」
- ・第9条（旧第10条）（利用の中止） → 「退会」を使わない。下記黄色を追記
「～ 本Webサイトの利用を中止することができ、登録した個人情報抹消できるものとする。」
- ・第14条（旧第15条）（通知または連絡） → 下記黄色に変更
「これらWeb会員へ到達したものとみなす」 → 「これら当該Webユーザーへ到達したものとみなす」
- ・規約の末尾に「制定日」と「施行日」を追加。
- ・その他、原さん他からのご指摘事項を修正（括弧内の「。」削除等）

よろしければ、こちらにて弁護士レビューを依頼して正式版としたいと思います。（12/1 制定・施行としたい）

9. スマートフォン用アプリの提供【相談】

□ 機能

基本的にはWebブラウザから見るのとあまり変わりませんが。。

- 南沢会のWebを閲覧する専用アプリ
- 画面が少し広くなり、余計な機能が無い（ブックマークやタブ、進む／戻る、アドレスバーもない）
- 通知が来る（今もWebブラウザ経由の通知は可能だが、アプリへの通知となりメッセージ的な使用も可能）
- Zoom会議への参加も、Zoomアプリ無しで可能（Webでも同じだが）
- アプリの専用メニューを実装可能

□ 利点／狙い

- 専用アプリ化により、高齢者の方にもわかりやすくなる。（Facebookアプリのように使える）
- スマホに通知が来るので、連絡用として実用性が上がる（はず）

□ 必要となるもの／費用（臨時予算申請）

- アプリ 作成サービス（Android \$29 / iPhone \$49） 合計 **\$78／一括**
- Google Play Developer メンバーシップ **\$25／年** + 開発用Android（自前のものを使用）
- Apple Developer Program メンバーシップ **\$99／年** + 開発用iPhone（自前のものを使用）

初年度\$202（約3万円）、次年度以降は年額\$124（約2万円）必要となる。

□ 注意点

アプリ作成は問題無いが、**GoogleやAppleのアプリ審査を通すのが大変。**（審査が通らない可能性もある）

- Android版の試用はこちらから → ベータ版／通知機能無しバージョン（[Google Drive](#)）
- iPhone版はSideload出来る方向け → ベータ版／通知機能無しバージョン（[Google Drive](#)）
- 通知機能にお金がかかるかも？（Pusherサービスは無料枠を超えました、Firebaseを使用予定）

9. スマートフォン用アプリの提供【相談】

臨時予算申請：アプリ作成サービス x 2

申請名称	Appilix				
参考情報	https://appilix.com/pricing				
申請費用	Android \$29 (税込) iOS \$49 (税込)	支払形態	一括払い	対象期間	2023/11 ~ 永年利用可能
申請理由	南沢会Web専用のアプリ提供による利用者の利便性向上のため				
選定理由	- 必要十分な機能を提供可能であること（通知機能も実装可能） - 一括支払い（アップデートは何回でも可能） - 価格面での優位性				
比較対象	- BuddyBoss App（Assetオフィシャルのアプリサービス） 年額25～30万円必要 - Monaca（和製アプリ作成プラットフォーム）自由度高いがスキルも必要（Over Spec） - その他、各種アプリ作成サービスも比較 Subscriptionで3万円／年以上～が多い				
備考	- Lifetime Support - 何回でもアプリの改修が可能				

9. スマートフォン用アプリの提供【相談】

臨時予算申請：Google & Apple 開発者サービス

申請名称	Google Play Developer Apple Developer Program					
参考情報	https://developer.android.com/distribute/console?hl=ja https://developer.apple.com/jp/programs/					
申請費用	Google Apple	\$25／年 \$99／年	支払形態	年額	対象期間	2023/11 ～ 不要となるまで
申請理由	南沢会Web専用のアプリ提供による利用者の利便性向上のため					
選定理由	・ これがないとアプリ配信ができない（他の選択肢は無い！）					
比較対象	・ 無し					
備考	・ お金を払っても審査が通らない可能性もある					

10. Web推進の一環として、非Webユーザーの格差是正

今年はWebを推進していますが、Webに対応できない会員のケアも非常に重要なテーマです！
現時点では9割超の方がWebに登録していません。将来的にも**しばらくは紙メインの方が多数派**でしょう。
技術的／費用的な制限は別として、Webと紙で提供する**機能の差を極力無くす**努力が必要と考えます。

□ Webと紙の機能差の例：

現状

- 80文字を超えた追悼文の掲載 → Web掲載に統一
- 個人的なメッセージの発信（ビジネスや個人的活動の宣伝を含む） → Webでは可能（寄稿／Base／Pages等）

これらはWeb上での発信が問題無いとされている内容です。

現実的な制約は別として、紙とWebで同様の対応を目指すことに根本的な問題がありますでしょうか？

□ やりたいこと：

- Webを推進する一方、**Webを利用しない／できない層が置き去りになってしまうことを防ぎたい。**
- 会の目的として会員交流を活性化させたいのであれば、**各会員からの発信の機会／選択肢**を増やすべきです。
（「追悼文をWebを使えない同世代や高齢者に紙で届けたい」という、強い要望も高齢者からいただいています。）

□ 発信媒体の選択の自由を提供：

紙でも、Webと同じ対応（追悼文／寄稿、宣伝／広告、個人的な発信）が可能となる選択肢を提供したい。

Web利用者しか享受できない機能があることの方が、公平性の観点からも問題であると考えます。

会員が「**Webを閲覧できないユーザーに紙で届けたい**」という要望に対応する方法は、現時点では提供されていません。

□ 現実的な制約への対応：

ただし、紙の場合は別途費用が必要です。また、各種制約（人的対応／同封可能な量など）もあるため、運用が可能な現実的なルールを検討／策定したいというのが目的です。（やる／やらないではなく、**どう実現するかを議論したい**）

10. Web推進の一環として、非Webユーザーの格差是正

過去に委員を経験された方々からいただいたご意見について：

お忙しい中様々のご意見を賜り、どうもありがとうございました。

「非常に残念な内容」という失礼な発言についてはお詫びいたします。申し訳ありませんでした。

いただいたご意見に対しては下記の様に考えています。**実現のためのアイディア／アドバイス**をお願いします。

- ・公平性の観点での問題： 一律Webに掲載というルールに決めたので、逸脱した対応は不公平であるとのこと。
 - 一律Web掲載というルールは、紙がメインの方にとって不公平ではないのでしょうか？ 今後も来るであろう依頼を断り続けますか？ Webを使えない方が疎外感を受けること無く、対応にご満足いただけるよう、できる限りの対応を検討したいと考えています。
- ・個人の営利に関する問題： 会報に個人の営利が関係する内容が入っていることへの抵抗感。
 - OB/OG会とはそういうものではないのでしょうか。このネットワークを活用し、活性化したいという際には避けて通れない内容です。一定のルールは必要だと思いますが、営利が絡むことを否定しては何もできません。卒業生の互助ネットワークではダメですか？
- ・過去のDM問題： 名簿の私的な営利利用が過去にあり、賛同できない。
 - 逆になぜそのような私的営利利用ができたのか？ 今後そのようなDMができないような運用ルールを決めれば良いと考えます。
- ・依頼が殺到するのではないか： 紙で発信したい方からの依頼が殺到して対応できないのでは？
 - Webと紙では、利便性／費用の面から多くの方はWebを選ぶと考えられます。ですが、紙を希望する方への体制も必要と考えます。また、会員から発信希望の依頼が殺到するのは好ましいことです。活性化のためには会員側からの発信が重要と考えています。
- ・同封物が増える懸念： 会報が埋もれてしまう。ターゲット外への通知は無駄では 等
 - 新聞とチラシの関係だと理解しています。量（枠）については制限を設けて調整したい。配信先も柔軟な対応を検討したい。
- ・費用の問題： 個人の費用とすることに抵抗感がある。
 - 希望者への発生した実費請求や、掛からなかった費用の還元は当然と考えます。広告枠提供によるスポンサード案も検討したい。
- ・委員会の負担が増える懸念： 判断や可視化されない作業が想定され、対応が難しい。
 - 最初はいろいろ混乱があると思います。来年は委員を外れますが、個人的にはできる限りの支援したいと思います。

10. Web推進の一環として、非Webユーザーの格差是正

□ 会報同封物の概要案（たたき台）

- ・ 目的 : 会員からの個人的発信を、紙面で他の会員に届けること
- ・ 方法 : 年2会の会報へ同封
- ・ 想定用途 : 追悼文／寄稿文、宣伝／広告（会員本人のビジネスに限る）、アンケート等
※依頼を受諾するかどうかの判断については、一定の基準を設ける（次ページ参照）
- ・ 掲載用紙 : A4サイズ限定（会報に同封するため）
- ・ 同封枚数 : 1～5枚程度（他の送付物と併せて要調整） → 受付先着順（枠から溢れたら次回に回す）
- ・ 費用 : 個人の意志による自発的な依頼なので、依頼者への実費請求（詳細は下記参照）
※広告枠を設けることで、協賛企業からのスポンサード運用も検討したい。
- ・ 発送先 : 持ち込み／1枚買い切りの場合は、発送先の選択も可能（所属別／回生別／その他、詳細は下記参照）

□ 紙面3パターン（案）

種別	完全持ち込み	1枚買い切り	南沢フリーペーパー（仮）
説明	印刷済み紙面の持ち込み。 パンフレットなどをイメージ。	1枚まるごと好きに使える。 原稿は依頼者が作成。	1/2～1/8の分割枠で提供して相乗り。 要校正作業（規定広告＋空枠広告）
印刷	不要（既製）	必要	必要
発送先	選択可能	選択可能	全員への送付
費用	封入費用のみ スポンサー不可	印刷費＋封入費用 （広告枠スポンサーも可能？）	印刷費＋封入費用をからスポンサー料 を引いて按分請求（個人負担を低減）

※参考費用：全会員宛：A4 普通紙 両面 白黒 5000枚 14,604円（参考：ラクスル価格）＋ 封入費用 2円／1枚 ＝ 約2.5～3万円
クラス80人宛：A4 普通紙 片面 白黒 80枚 1,796円（参考：ラクスル価格）＋ 封入費用 2円／1枚 ＝ 約2,000円

10. Web推進の一環として、非Webユーザーの格差是正

□ 運用プロセス案（ドラフト）

- 電話／Webでの申請受付
- 広報室担当者が依頼主と会話し、依頼内容を確認／受理可能か判断する。判断出来ない場合は本部委員会で決議。判断基準は別途検討だが、下記のようなチェックリストを想定。（あまり難しく考えなくても良いのでは）

チェックリスト例：

- 南沢会会員本人からの依頼であること
- 内容が依頼者本人に関する内容であること（知人からの依頼などはNG）
- 営利勧誘（ネットワークビジネス等）／政治的／思想関連などは判断が難しいので本部委員会判断か？
 - 機密情報の保護非公開情報、個人情報などを含めないこと（要非公開情報／個人情報の定義）
 - 第三者の権利を侵害していないこと（著作権／肖像権／商標権／コンテンツの二次利用の禁止など）
 - 誹謗中傷の禁止特定の個人や集団への蔑視や侮辱、名誉毀損、攻撃的・差別的・性的・排他的な表現の禁止
 - 透明性／中立性の確保
 - 真偽不明の情報発信の禁止その真偽を確認できない情報を発信しない

- 受理されたら、紙面の確認／作成作業。（「南沢FP（仮）」の場合は枠分割／配置などの校正作業が必要。）
こちらへんは別途。会報締め切りと同じ日までに校正終了していれば掲載可能。そうでない場合は次号掲載に回す。

□ 「南沢フリーペーパー（仮）」について

複数人相乗りとなるので、目的別のコーナー分けがあると良いかも。（追悼文コーナー、広告コーナー、川柳なども？）
広告枠は最初に確保しておき、最終的に空き枠が出た場合はそこも広告にまわしても良いかも。（アイディア求む）

□ 初回特別分について

初回分については「永田さんからの寄稿文」と「紙面発信についての説明」の紙を併せた形で作成してはどうか？
どういうイメージで発信できるか、事例で理解いただけるかと思いました。（公私混同で申し訳ないですが）

1 1. 前項の代替案：事務局による郵送代行

昨夜、前項の対応については、次年度委員会（7375）では対応出来ないという回答をいただきました。
少ないリソースの状況で、新しい業務を追加できないのは仕方ない事と理解しました。

□ 代替案の検討（追悼文を要望している方への紙の選択肢）

指定のクラス宛の郵便物を、**事務局が代行して郵送**する方法を検討したい（クラス委員の通信方法と同じ）
そのためには、個人情報の利用目的の範囲を拡げる必要がある。

→ 個人情報保護方針に次の目的を追加できないか？

第2条（個人情報の利用目的）

本会の保有する個人情報の利用目的は以下の通りとします。

【追加】 本会の会員に関する、訃報／追悼文の送付

→ 運用概要案

- ・ 郵送代行の依頼は遺族からのみ受付可能とする
- ・ 郵送物の用意は全て依頼者側が用意（この方法による送付である明示／説明の同封が必要か？）
- ・ 事務局側は、宛名シールの貼り付けと発送処理のみ対応
- ・ 掛かった費用は全て実費で依頼者へ請求

メリット：年に何回かある追悼文を同世代に送りたいという要望への対応

ターゲット以外への不要な郵送物を作らない。郵送する内容も自由。（訃報・追悼文である限り）

会報の発送タイミングを待たなくて良い、柔軟な発送タイミング

会員への周知：事務局の郵送代行対応が可能であることの、会員への周知を次回会報へ入れ込みたい

→ その後、D8永田さんの依頼への対応 という流れ